
ALIENTEK

HP20

**加熱プレート
日本語取扱説明書（参考訳）**

ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：HP20 Heating Plate User Manual、ローカル保管のメーカー英文PDF、本文1～12ページ。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 全安全注意・給電条件
2. 概要・各部・全仕様
3. 昇温時間全表・温度色
4. 主画面・全警告・全通知
5. Reflow・Heating・Repair全画面操作
6. Heating・Repair全設定
7. Reflow全温度・時間設定
8. その他の全14メニューとキー
9. ファームウェア更新
10. メーカー・サービス

1. 全安全注意・給電条件

- ・ DCとUSB-C PDはどちらか一方のみ。両方を同時につなぐと故障の恐れがあります。
- ・ DCの既定制限140W、PDは電源の最大出力へ適応。Power Limitで変更できます。
- ・ 終了時は加熱モードを抜け、ファンの自動冷却を続け、ファン停止後に給電を外します。高温面に触れません。
- ・ 安定運転には100W以上、DC20V・5A以上の適合電源が推奨です。
- ・ 液体を入れず湿った環境で使いません。長期間不使用なら給電を外し適切に保管します。
- ・ 分解・改造せず、説明書を保管し、子供の手が届かない場所へ。

原本は65W超・100W未満でも200℃以下や急速昇温が不要な用途で運転できる場合がありますが、昇温は遅く、200℃以上・低室温・大きい／熱伝導のよい物体では設定温度へ届かず不安定になる場合があります。全範囲の性能を保証せず、電源不足・不良・虚偽定格による性能低下は本体不良としないというメーカー条件です。販売先の実際の対応は別途確認します。

2. 概要・各部・全仕様

アルミ筐体、温度色表示・リアルタイム曲線、定温／リフロー／スマートフォン修理、過温・短絡・加熱時間保護、ファームウェア更新を備えます。Bluetoothアイコンは表示されますが、日本の無線認証を確認したものではありません。

項目	原本の値
給電端子	DC5521／Type-C、同時不可
DC電圧	20～32V
Type-C	最大28V、PD3.1／3.0／2.0
出力制限	65～200W、設定可
温度範囲	40～350℃
加熱面	100×60mm
待機電力	≤1W
温度安定性	±3%（絶対測温精度ではない）
画面	1.47インチIPS、320×172
寸法／重量	104×64×50.6mm／約260g

各部：加熱面、画面、L／Rキー、RGB表示、USB-CとDC入力。実際の電源とケーブルが定格へ適合することを確認します。

3. 昇温時間全表・温度色

出力	100℃	200℃	260℃	300℃	350℃
200W	0:35	1:20	2:00	2:30	3:30
140W	0:45	2:05	3:20	4:30	不可
100W	1:10	3:20	6:35	不可	不可
65W	1:58	6:50	不可	不可	不可

原本例の時間は分:秒。140W超の電源推奨という表の注記は、安全章100W以上推奨と異なる性能条件です。140Wは300℃以下、100Wは260℃以下を推奨。室温・測温機器で変わり、全負荷で同じ時間を保証しません。

RGB色	原本の温度帯
青緑	≤50℃
緑→黄	50～90℃
黄→白	90～125℃
白→紫	125～165℃
紫→赤	165～200℃
赤	≥200℃

境界は原本で重複します。色は目安で、消灯・低温色を安全な接触許可と判断しません。

4. 主画面・全警告・全通知

主画面はRepair、Reflow、Heating、Settings。L短押しで左、R短押しで右、R長押しで選択へ。L長押しは主画面では無効です。

警告	原本の説明・対処
Undervoltage	低電圧で加熱不可、任意キーで主画面。
Fan Error	ファン自己診断で停止／詰まり、点検し再給電。
NTC Error	ケース内センサー短絡／断線、メーカーへ。
Heater Short Circuit	ヒーター短絡、メーカーへ。
Heater Open Circuit	ヒーター断線、メーカーへ。
Case Temp High	ケース内50℃超で加熱停止。
Power low	電源100W未満でReflow不可、任意キーで主画面。
Heating timeout	設定時間超で停止、任意キーで主画面。
Reflow End	冷却温度到達・カウント終了で加熱停止、任意キーで主画面。
Sleep	主／設定画面で睡眠時間超、5秒カウント・画面オフ。温度50℃まで下がってファン・RGB停止、任意キーで復帰。

5. Reflow・Heating・Repair全画面操作

ReflowはPH予熱→SK保温→RFリフロー→CL冷却。各設定温度・時間に従い進みます。画面は現在温度、工程、電力・時間、電圧・電流、設定電力、ファン速度1～5、Bluetooth状態、LOGOを表示します。L長押しで主画面へ、その他のL／R短押し・R長押しはこのモードでは無効です。

Heatingは現在温度、出力0～100%曲線、時間軸、温度曲線、電力・時間、電圧・電流、設定電力、ファン・Bluetooth、プリセット、LOGO。L短押し減温、R短押し増温、L長押し主画面、R長押しで3温度切替。

Repairは現在温度、電圧電流、電力時間、目標、出力バー、設定電力、ファン・Bluetooth、修理モード、LOGO。L／R短押しで減／増温、L長押し主画面、R長押しでモード切替。拡張加熱モジュール・はんだ網・修理用ステーション等は原本が別途購入として案内します。適合や同梱を推測しません。

画面にBluetooth ON／OFFを表示しますが、この原本は接続アプリ・通信設定手順を説明していません。

6. Heating・Repair全設定

項目	既定	範囲
Theme	curve	Standard／curve
T1／T2／T3	200／260／300℃	各40～350℃
Heating Trim	0	－50～+50℃
Heating timeout	20分	1～30分／OFF
Debonding	100℃	60～150℃
Debonding Time	2分	10～300秒
Delamination	80℃	60～260℃
Delamination Time	2分	10～300秒
Lamination	80℃	60～260℃
Lamination Time	2分	10～300秒
Reballing	260℃	40～300℃
Reballing Time	2分	10～300秒
Repair Trim	0	－50～+50℃

Heating TrimはHeating／Reflow表示と温度計との差、Repair TrimはRepair表示との補正です。原本に補正の符号例はないため、適合温度計で補正後を確認します。各修理設定は実際の対象・接着剤・部品へ適合を判断して使います。

7. Reflow全温度・時間設定

工程項目	既定	範囲
Up temp	150℃	120～180℃
Keep temp	180℃	150～220℃
Weld temp	260℃	230～300℃
Cool temp	80℃	50～80℃
Up time	2分	60～300秒
Keep time	1分30秒	30～300秒
Weld time	1分	30～300秒
Cool time	5分	300～480秒

予熱は目標まで上げる時間、保温／リフローは到達後の加熱保持、冷却は目標温度へ下げてタイムアウトで停止する設定です。原本Keep timeの「1:30S」は90秒として表記を整理。予熱・リフロー工程の設定を実物基板・はんだ材料に合うプロファイルと同一視しません。

8. その他の全14メニューとキー

項目	既定／範囲・機能
Temp step	10°C／1～20°C
Temp unit	°C／°C・°F
Power→PD Auto	ON／ON・OFF、電源最大出力へ適応。
Power settings	140W／65～200W、DCの電力設定。
Language	簡体中国語／簡体・繁体・English
Volume	High／Off・Low・Medium・High
Backlight	80％／10～100％
Sleep	20分／1～30分・OFF
Others→Firmware Upgrade	更新モードへ。
Others→Factory Reset	言語以外を工場設定へ。
Startup animation	ON／ON・OFF
Bluetooth switch	ON／ON・OFF
Version	バージョン表示
Manual	QRで原本参照。

Theme、Heating、Repair、Reflowとこの表のTemp step～Manualを合わせた原本14メニューです。設定中L短押しは前／減、R短押しは次／増、L長押しは主画面へ戻る／保存して戻る、R長押しはパラメーター編集内で無効。主画面でR長押しは選択へ入る別機能です。原本は各設定値を変更する階層のすべての進入操作を詳述していないため、実画面を確認します。

9. ファームウェア更新

電源を外しRを押しながらType-CデータケーブルでPCへ接続・給電します。約4秒でUSB Connectionが出たらRを離します。別方法はSettings→Other Settings→Firmware Upgradeで更新モードへ。

専用更新ソフトを開き、自動接続を待つかReconnect。PCインターネット接続を用意し、対象のリモートファームウェア提供先を選択、Start Upgradeで開始、完了後にアプリへ自動移動します。原本に対応OS・具体的な提供先一覧はありません。対象HP20の公式ファイル・ツールのみを使用し、更新中の切断・給電断を避けます。

10. メーカー・サービス

メーカー：Guangzhou Xingyi Electronic Technology Co., Ltd.（ALIENTEK／正点原子）。原本窓口
fae-smt@alientek.com、www.alientek.com、資料<http://www.openedv.com/docs/index.html>。原本は人為的損傷を
除く本体1年無償保証と購入店への相談を記載。メーカー原本条件の紹介であり、泰宕商事の保証・販売条件を変更しま
せん。

型番・購入記録・入力電源仕様・設定電力・ファームウェア・症状をまとめて購入先へ相談します。本原本に独立した清
掃手順・全部品の保守周期はないため、他製品のアルコール清掃等を補いません。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：HP20 Heating Plate User Manual、ローカル保管のメーカー英文PDF、本文1～12ページ。

原本の製造元：Guangzhou Xingyi Electronic Technology Co., Ltd. (ALIENTEK)

メーカー資料：<https://www.alientek.com/download>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宕商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
原本1ページ	安全全項目、低電力制限・メーカー免責条件。
2～3ページ	概要・各部・全仕様・全昇温時間・色温度。
4～7ページ	主画面・全警告・通知・3モード全画面・全キー。
8～10ページ	全14メニュー、温度・時間の全値と既定、設定キー。
10～12ページ	更新全方法、サービス。